

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」上島校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 29日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 29日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムや教員が豊富で活動が柔軟な支援活動を行うことができる。	お子様の成長度合いに応じたり、飽きさせないように支援中のお子様の様子を見て支援内容を常に見直している。 工作のバリエーションがたくさんあり、更にお子様のリクエストに応じて作るものを決めることで意欲向上に繋げている。	市内の「きらり」で共同の教材研究チーム活動を行っているので、今後も教材研究を続けていきたい。教材開発にも着手したい。
2	お子様の特性に合わせた専門性のある支援を提供することができる。	支援を通してお子様の様子を観察し、保護者の皆様に確認を取りながら、お子様の見立てを職員全体で共有している。	引き続き、支援記録の徹底はもとより、職員同士が声を掛け合ってお子様に関するちょっとした情報も伝えていくようにしたい。
3	お子様が安心感を持って通所を楽しみにしてくれている。	お子様に無理をさせない支援内容を考え、徐々にステップアップできるようにしている。 「次に来た時に○○しようね」と約束をすることで、見通しを持たせ、次回来所するのを楽しみにできるようにしている。	お子様に関し気付いたことや、今後「きらり」で支援していきたいことを保護者の皆様にお伝えし、保護者の皆様と職員が同じ方向を向いていく。 職員全員が声掛けや対応法を揃え、安定した関わりを持つことで、お子様にとって安心できる場であり続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと関わる機会がない。	利用されているお子様の個人情報が外部に漏れてしまうかもしれないという懸念がある。 個別療育が主な事業所なので、地域との関わりに需要があるのか。	「きらり」の活動において地域との関わりを求めているのかアンケートを取る。 地域イベント等を調べてみる。
2	兄弟姉妹向けのイベント等、兄弟姉妹への支援がされていない。	イベント開催時は常に大人数の希望があり、兄弟姉妹を呼ぶことで更に人数が増え、安全上のリスクが生じてしまう。 利用されているお子様への目が行き届かなくなり、思いもよらない怪我に繋がる可能性が否定できない。	利用されているお子様の送迎時に一緒に来てくれた兄弟姉妹への声掛けの継続。待っている兄弟姉妹に対してのおもちゃ等の貸し出しを引き続き行う。 保護者様に対し、家庭での兄弟姉妹との関わりの様子を尋ね、アドバイスをしていく。
3			

事業所名 子どもサポート教室「きらり」上島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

48

回収数

21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	6	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	6	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	2	1	0	トイレを改善してほしい。	ご迷惑をお掛けします。毎朝校舎内の清掃は欠かしておりませんが、古い校舎でありますので不具合の出ている箇所もございます。会社には既に報告してありますので、今後のことを引き続き話し合っていきたいと思っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0		指導員によって差がある。 毎回違う指導員ではなく固定にして欲しい	ご意見ありがとうございます。内部・外部研修を通してよりよい支援を行えるよう研鑽を重ねて参ります。支援に関してお気づきのことがございましたらいつでもおっしゃってください。「きらり」では、「特定の先生でなければ力を発揮できない」ということがないように、指導員を固定しないようにしています。しかし、お子様の特性によっては担当する指導員を少数にした方がよい場合もあると思いますので、個別にご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	4	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	4	7	5		1時間ごとの個別療育が主なので地域の園やお子様と交流する機会がなかなか持っていないのが現状です。今後、利用者様の希望も含め交流方法を検討していけたらと思います。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2	0	0			

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	3	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	2	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	2	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	2	3		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2	1	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3	0	0		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	5	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	1	0	先生によって指導力に差がある。 子どもが安心して通うことができるように声かけしていただき、ありがとうございます。毎回、楽しみに行くことができます。	ご意見ありがとうございます。内部・外部研修を通してよりよい支援を行えるよう研鑽を重ねて参ります。支援に関してお気づきのことがございましたらいつでもおっしゃってください。 温かいお言葉をありがとうございます。今後もお子様や保護者の皆様に寄り添ったカスタマイズの支援を提供していく所存です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」上島校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1時間当たり3名程度の利用。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	配置基準を満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	トイレの臭いが気になる。	毎日の清掃を欠かさない。設備面については会社にも相談済みなので、今後のことを引き続き話し合っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	完全に個室ではないが必要に応じてパーティションで仕切ることが可能。しかし、声は聞こえる。 完全に個別で過ごせる場所があるといい。	1時間当たりの利用人数や、静かな環境を望むお子様の時間帯のメンバーをできる限り調整していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回事業所評価をお願いしており、結果をHPで公開している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼で意見交換が出来ている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	市による監査が数年に一度実施されるが、それ以外に第三者による評価は行われていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部研修、外部研修に参加してもらっている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援プログラムの公表については会社の指示を待っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育を望む方が多いが、イベントを定期的に開催し、参加者を募っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	終礼や昼礼で情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼や昼礼で情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自己選択が苦手なお子さんにはまずは2択から聞くようにし、着実に選択する力をつけてもらうようにしている。 プログラムの順番を自分で決めたり、内容を決めたりする。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス社担当会議に参加し、個別療育での姿を共有してもらおうと同時に課題の確認をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	サポートかけはしシートを使用して小学校と情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	経験なし。不明。	今後、利用されているお子様や保護者様から希望があった時に情報提供できるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	他の子どもと活動する機会がない。	地域交流については、利用されているお子様や保護者様の希望があるか不明なため、今後意向を確認していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の支援の様子をお伝えするとともに家庭や学校での様子を聞くようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の際に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	定期的に保護者会を開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやインスタグラム、LINEで情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫で保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域の方との交流方法を考えていく必要がある。	地域交流については、利用されているお子様や保護者様の希望があるか不明なため、今後意向を確認していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルをファイルにまとめて事業所内に置いている。 毎月防災訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	毎年基本情報シートを保護者に配布し、記入してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	飲食の提供は行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	内部研修、外部研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束を行ったことはないが、個別支援計画に記載するとともに、必要があれば同意書を作成する。		